



会長 小野寺 伸 浩
幹事 及 川 昭 宏
会報 猪 股 育 夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2773回例会 2021. 3. 11 No.30

本日の出席率

・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・小野寺伸浩会長 3.11あつというまに10年です。コロナも大変ですから皆で力をあわせて乗り切りましょう。志賀昭洋会員のスピーチに期待します。
- ・及川昭宏会員 あれから10年ですが、あの時の思いを忘れないようにしたいです。
- ・阿部泰彦会員 あれから10年、東日本大震災には南三陸町中心に大きなご支援ありがとうございました。お陰様で立派な町に復興いたしました。
- ・飯塚仁哉会員 10年前の今日14時50分に地震で断水、停電が起こり夕食はローソクの光で寂しく食卓を囲みました。「三陸の四方の街並み荒れ果てて昔ながらの山桜かな」。
- ・佐々木崇会員 コロナ禍、御身お大切に！
- ・佐藤幸一会員 会社に於いて、強風の中火事騒ぎを起こし大変申し訳ありませんでした。被害も無かったので御放心下さい。
- ・江川元徳会員 10年前の今日(2011.03.11) 悲残の天災を忘れないで。でも今、独裁の国家が増えて、人為の災難が多い。残念！
- ・八谷郁夫会員 志賀昭洋会員のスピーチ楽しみです。
- ・菅野幸一郎会員 本日の河北新報に10年前の3.11の翌日3月12日の朝刊に大津波の写真が掲載してありますのでご覧ください。
- ・高田次雄会員 本日3.11、10年早いものですね。これからも大切な記憶と共に新たな道を歩んで参りましょう「合掌」。不謹慎ですが誕生祝のお花ありがとうございます。私も四季を数え重ねること80回の春を、今日3.11に迎えました。志賀昭洋会員のスピーチ、勉強させて下さい。

- ・佐々木源悦会員 大震災から10年、今朝津波でなくなった妻の両親の墓参りに行きました。
- ・熊谷敏明会員 震災から10年、たちまちですね。10年後コロナという新たな試練が待っているとは想定外でした。
- ・菅原慶一会員 震災から10年、なにげない一日に感謝です。志賀昭洋会員のスピーチに期待します。
- ・富士原裕子会員 本日のスピーカー志賀昭洋会員のスピーチにご期待いたします。
- ・岩渕栄市会員 あれから10年、二度と有ってはならない災害。ただ、ひたすら鎮魂を願うのみ。
- ・關孝会員 通常の例会の形に戻り安堵しております。志賀昭洋会員のスピーチ楽しみにしております。
- ・後藤和人会員 震災から10年、被害にあわれた方に対しご冥福をお祈りします。
- ・村上武彦会員以下 本日のスピーチに期待して
 佐藤敬喜会員 千葉吉男会員 佐竹孝行会員
 遠藤光則会員 猪股育夫会員 杉田広仁会員
 佐藤早智子会員 千葉正宏会員 二階堂恭子会員
 志賀昭洋会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 小野寺伸浩会長

花粉も飛び交う今日この頃、皆様いかがお過ごしですか。本日は3月11日、10年前に発生した東日本大震災の発生日と同じ日です。

私ごとですが、10年前の今日は午前中に南三陸町志津川の高野建設さんに訪問しておりました。予定では午後の打ち合わせでしたが、午前中に変更してほしいという依頼があり、打ち合わせの志津川湾の堤防の中に入りますと陽気はすっかり春で海面にはクルミが浮いており、わかめを煮ている人もいました。

その後、ホテル観洋でコーヒーを飲み事務所に戻り、

運命の午後2時46分に地震が発生しました。私の記憶では3回位地震がきておりますが、連続してきたように感じました。いやと言うほど長く、地震嫌いの私にとっては大変つらい時間でした。地震が収まった時点で社員を全員帰宅させ、停電が改善したら出社するように、それまでは各自の事をするように伝えました。夕方からは雪が降りはじめ、午前中の陽気が嘘のように冬に逆戻りしたような天候になった記憶があります。

因みに、東京のお台場で勤務していた社員が3名おりましたが、「ゆりかもめ」が運行停止し、皆んな一本道を歩いて新橋まで移動しました。JRもシャッターを全部降ろして休業状態に入りましたので、寮のあった川口まで徒歩で帰ったと言うことです。

その年の7月から会長に就任した菅原文之会員は、震災後の例会で各自の状況を報告し合った記憶があります。それからは、南三陸町等被災地の支援や他のクラブのサポート等で大変忙しく活動した覚えがあります。今週の日曜日に三陸道を使って陸前高田に行ってきました。工事場を通過し陸前高田に着きましたが、今だに造成作業の真最中で土色の風景が眼下に広がりました。復興はまだまだなんですね。出来上がる前に住民がいなくなるのではないかという危機を感じました。

震災の影響が比較的少なかった登米市でも、少子化と高齢化は予想以上に早く進んでおります。ロータリークラブとして何が出来るかを考えなければならぬと再度確認した今日この頃です。

幹事報告 及川昭宏幹事

- ・東北風土マラソン&フェスティバル2021 実行委員会より
 「東北風土マラソン&フェスティバル2021」開催に係る後援依頼(オンライン開催)

今週のスピーチ

「(公社)とめ青年会議所の活動について」

志賀昭洋会員

本日は、とめ青年会議所の活動についてお話ししたいと思います。

J C (青年会議所)は、20歳~40歳までの会社経営者や個人事業主または経営に準ずる者が多く集う団体で、まちづくり活動や自己啓発セミナー、交流事業などを行っております。地域活性化、地域貢献、自己成長、人脈拡大がその目的です。ロータリーの活動と似たような面もありますが、ロータリーが職業奉仕を掲げているのとは違って、どちらかと言いますと若者の機動力を生かして活動していきましょうという団体です。今から52年前の1949年に設立され、経済界に多くの方を輩出しております。青年会議所は全国各地に存在し、現在日本各地694の地域にあり、その会員数は約34,500人、宮城県内には11存在します。

日本青年会議所は色々な取組みをしており、その中で、コロナ禍で全国各地の花火大会が中止となり、淋しいので2020年7月24日(金)「全国一斉花火大会」を計

画し全国各地で打上げ花火を実施しました。宮城県では仙台市と大崎鳴子町で実施されました。

○J Cの特徴

泣いても笑っても40歳で卒業。そして毎年役職が変わるので、その中で経験を積んで、社業に於て会社のマネジメントで生かしていただけるようにしております。

飲み会が多過ぎると言われることもありますが、顔を合わせる機会が多いので非常に仲良くなり、生涯の友になる人も結構います。J Cは全国組織、世界組織なので、交友の場が無限に広がり、ビジネスの話にもつながりやすいという点があります。又、現役会員だけでなくOBとも交友関係が構築できます。各種書類の作成やプレゼン能力がアップし、人前での挨拶が上手になり、ビジネスマナーが身につきます。経営者が多いので様々な刺激が得られます。

○とめJ Cについて

とめ青年会議所は、昭和45年に全国で451番目に設立され、登米市を活動エリアとして「明るく豊かな社会」の実現を理想とする、情熱ある20歳から40歳までの青年男女の団体です。これまで多くの地域のリーダーを輩出してきております。

2019年、創立50周年を迎えました。その時、吉田沙保里さんをお招きし「迷わず進む勇気」というテーマで講演していただきました。

○とめJ Cの活動内容(4つを「つくる」団体)

1. 地域づくり

「明るい豊かな登米市の実現」を目指す青年会議所だからこそ地域活性化へ力をそそぐことが出来ます。一人でなかなか出来ないことも、メンバー丸となってまちづくり事業に取り組み、若い力と創造力で未来の登米市を創っていくことができます。

2. 人づくり

青年会議所では、日常生活では得られない経験の機会が多くあります。また、様々な研修会やセミナーを実施しておりますので、社会人として、人として磨かれます。

3. 仲間づくり

青年会議所には多くの同世代の様々な職種につくメンバーが在籍しています。また、青年会議所は全国各地、世界各国に存在しており、登米地域に限らず広く交流の輪を広げることが出来ます。また経営者やそれに準ずるメンバーが大半なことから、ビジネスパートナーを広めることができます。

4. 会社づくり

会社の経営者やそれに準ずるメンバーが多く在籍する青年会議所では、様々な経営セミナーを実施しております。また、経営者は会社の利益を上げ、雇用を創出し地域経済を向上させることが最大の地域貢献であるという考えのもと、会員企業の成長を目指した事業を実施しております。

— 具体的な活動内容は、紙面の都合上割愛させていただきます。